

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	16	学校名	静岡県立小山高等学校 (全日制)	校長名	櫻井 教文
------	----	-----	---------------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

北駿地域の普通高校として、主体的な活動や多様な人々との協働による教育活動を通して、校訓『自尊』のもと、「いかなる時代にもたくましく生き抜ける人間」の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
地域社会に貢献するための3つの力を育成します。 ・前に踏み出す力 (主体性、実行力) ・チームで活動する力 (協調性、コミュニケーション能力、リーダーシップ) ・考え抜く力 (知識・技能、課題発見力、思考力)	○地域社会に貢献する人材を育成するために、地域と連携し、地域を舞台にした学びや体験活動を行います。 ○主体的・協働的な人材を育成するために、主体的・対話的で深い学びによる授業実践や、課題発見・思考を重視した教育活動を実践します。 ○豊かな人間性・社会性を育むために、教科・科目、特別活動、総合的な探究の時間、部活動など、すべての教育活動にバランス良く取り組める教育課程等を編成します。	○将来にわたって、地域や社会に貢献しようという志を持った生徒を求めます。 ○自他ともに尊重し、規律正しい行動を心がける生徒を求めます。 ○学習活動、特別活動、部活動等の教育活動に前向きに取り組む生徒を求めます。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 地域社会に貢献する人材を育成する。
- イ 主体的・協働的な人材を育成する。
- ウ 人間性や社会性を育む教育活動と生徒指導を推進する。
- エ 教育環境を整備し、信頼ある学校づくりを推進する。

3 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当
ア	地域社会と連携した教育活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した新しい教育課程の研究 ・教育活動における地域資源の活用と地域連携 ・一部活動一交流の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した新しい教育課程の立案 ・「部活動、生徒会活動、学校行事などを通して、地域との交流が図られている。」生徒、教員 80%以上 ・地域や外部機関との連携 30回以上 	全教職員
	生徒の適性や希望に応じたきめ細やかな進路指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・面談、進路説明会、進路行事を通しての進路指導及び進路情報の提供 ・学びの基礎診断、模試を活用した学習指導、進路指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は進路情報を提供し、進路説明会を開くなど、計画的な指導を行っている。」生徒、保護者 80%以上 ・「学校の進路指導には満足している。」生徒、保護者 85%以上 ・「(3年生進路決定者のみ) 決定した進路先に満足している。」生徒、保護者 95%以上 	進路

様式第1号

			・「(教員のみ) 学びの基礎診断、模試を学習指導や進路指導に有効活用した。」教員 80%以上	
イ	主体的・対話的で深い学びを推進する。	・授業参観、校内研修等による授業改善の推進 ・課題、小テスト、補習等による学力向上	・「先生方は、わかりやすく学力がつく授業を行っている。」生徒 90%以上 ・「生徒は、授業や課題に主体的に取り組んでいる」生徒、保護者、教員 80%以上	教務
		・地域資源を活用した次年度以降の探究活動計画の研究・整備 ・総合的な探究の時間の充実	・地域資源を活用した次年度以降の探究活動計画の策定 ・「(教員のみ) 総合的な探究の時間の趣旨を理解し、指導することができる。」教員 80%以上	探究・管理職
	教育DXを推進する。	・ICT活用による授業改善の推進 ・1人1台端末の活用方法の検討とICT環境の整備	・「学校は、ICTの活用等、授業改善に積極的に取り組んでいる。」生徒、保護者、教員 85%以上	教務
ウ	生徒の主体的な活動を推進する。	・特別活動における生徒の主体的な活動の推進 ・リーダー研修会等によるリーダーの育成 ・部活動の活性化	・「生徒は、生徒会活動や学校行事に主体的に取り組んでいる。」生徒、教員 90%以上 ・「筮陵祭、修学旅行、クロスカントリーなどの学校行事は充実している。」生徒、保護者、教員 90%以上 ・「部活動に積極的に取り組んでいる」生徒 80%以上 ・「(教員のみ) 部活動ガイドラインの遵守」教員 100%	生徒
	人権意識を涵養し、成長を促す生徒指導を実践する。	・挨拶運動の実施 ・服装指導、道徳教育、人権教育の実施	・「小山高生は元気な挨拶ができる。」生徒、保護者、教員 90%以上 ・「小山高生は正しい身なりや服装が習慣化できている。」生徒、保護者、教員 90%以上	生徒
	共生・共育を推進する	・小山分校との学校行事・委員会活動等を通じた共生・共育の推進 ・小山高校・小山分校の教職員による共生・共育の在り方の検討・計画立案	・学校行事・委員会活動等を通じた共生・共育の機会の昨年度比増 ・拡大共生・共育委員会の年3回の実施	全教職員
エ	生徒が安全・安心に登校できる教育環境を整備する。	・防災訓練、交通指導、教育相談体制の充実	・「小山高生は安全・安心な学校生活をおくることができている。」生徒、保護者、教員 95%以上 ・「小山高生は交通法規を守り、事故防止に努めている。」生徒、教員 90%以上 ・「友人や先生など悩みを相談できる人がいる。」生徒 90%以上	生徒
		・施設設備の点検	・施設設備における事故発生0件	事務

様式第1号

働きやすい職場環境と法令遵守の姿勢を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直しと効率化 ・働きやすい職場環境づくり ・法令遵守の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・「(教員のみ) 教職員間のコミュニケーションは活発であり、チームとして機能している。」教員 80%以上 ・「(教員のみ) お互いのワークライフバランスを尊重しつつ、教育活動に協働して取り組んだ。」教員 80%以上 	全教職員・管理職
	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な会計管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な会計管理の執行と不祥事0件 	事務
地域に開かれた学校を目指して情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生に対する学校紹介及び地域、保護者等への情報発信の工夫 ・一日体験入学及びオープンスクールの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保護者、中学生、地域に学校の魅力が伝えられるような情報発信をしている。」80%以上 	教務・管理職